小学校 高学年 道徳科学習指導案

- 1 主題名 温かい心で [B 親切、思いやり]
- 2 ねらい 友子ときくさんの姿から、相手の立場に立ってどのように接し、対処することが 相手のためになるのかを考え話し合うことを通して、誰に対しても思いやりの心を もち、相手の立場に立って親切にしようとする態度を養う。

教材名 「きくさんのなみだ」(出典「彩の国の道徳(小学校高学年)夢にむかって」)

- 3 主題設定の理由
- (1) ねらいや指導内容について

本主題は、内容項目「誰に対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にする こと。」に関するものである。思いやりとは、相手の気持ちや立場を自分のことに置き換え て推し量り、相手に対してよかれと思う気持ちを相手に向けることである。

高学年の段階においては、自他を客観的に捉えることができるようになってくる。そのため、相手の置かれている状況を自分自身に置き換えて想像できるようになる。また、家の周囲や学校といった狭い範囲だけでなく、地域社会における公共の場所など活動範囲がより一層広がり、より多様な人々と接する機会が多くなってくる。

指導に当たっては、特に相手の立場に立つことを強調する必要があり、自分自身が相手に対してどのように接し、対処することが相手のためになるのかをよく考えた言動が求められる。また、人間関係の深さの違いや意見の相違などを乗り越え、思いやりの心とそれが伴った親切な行為を児童が接する全ての人に広げていくことも大切である。そのためには、児童が多様な人々と触れ合い、助け合って何かをするような機会を増やすとともに、それらの体験を生かし、思いやりの心をもつことの大切さについて深く考えられるように工夫する必要がある。

- (2) これまでの学習状況及び児童の実態について 一略一
- (3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、高齢者への接し方に悩む友子が学校での「ふれあい広場ボランティア」に参加し、82歳のきくさんとの触れ合いを通して、相手のことを考え思いやりの心をもって接することの大切さを感じるといった内容である。きくさんにどのように接したらよいのか悩む友子の姿を通して、相手の立場に立ってどのように接し、対処することが相手のためになるのかを深く考えることのできる教材である。

そこで、話合いの視点を次の3つの発問から構成する。

① 話しかけても何も言わないきくさんを見て、友子はどんな気持ちだったか。 ここでは、クラス全体で話し合うことで、高齢者との関わり方への不安や理解がなか なかできない時に感じる戸惑いに共感させる。

- ② 一生懸命ストローのさし口を探しているきくさんを見て、自分ならどうするか。 ここでは、児童が友子役、教師がきくさん役で役割演技をする。役割演技で行った行 為の理由を聞いたり、周りで見ている児童に気付いたことを聞いたりすることで、行為 の理由の共通点が全て「きくさんの立場」になっていることに気付かせる。
- ③ きくさんに「ありがとう」と言われ、きくさんの涙を見た友子はどんな気持ちだったか。 ここでは、きくさんの涙を見て胸がいっぱいになり、心の奥に温かいものが こみ上げてきた友子の様子を押さえ、きくさんのことを思い考えて行動した友 子の気持ちがきくさんに伝わったことに気付かせ、課題の解決につなげる。 以上のことより本主題を設定した。
- 4 人権教育上のねらい(個別の人権課題「高齢者」)

高齢者の立場に立って考え話し合う活動を通して、高齢者に対して一律に弱者とした見方を するのではなく、相手の立場に立って関わろうとする態度を育てる。

5 人権教育上の視点

- (1) 高齢者の気持ちや考えを尊重しようとしている。(価値・態度)
- (2) 高齢者の置かれている状況を自分自身に置き換えて想像することができる。(技能)

6 学習指導過程

◎人権教育上の配慮

	学習活動・主な発問	・予想される児童の反応	・指導上の留意点 ☆評価の視点
	1 親切にされた時の気持	転んだときに声をか	・親切にされた経験を振り返るこ
	ちについて発表する。	けてもらった。	とで、本時の主題に対する興味
	・今までに親切にされたこと	・けがをした時に保健	関心を高め、人に親切にする時
導	はありますか。また、どん	室に連れて行っても	に大切なことは何なのかという
	な気持ちになりましたか。	らった。けがをして	課題へつなげる。
		いて悲しかったので	
		うれしかった。	
入			
	2 本時の課題を知る。		・学習課題を提示し、授業への見
			通しをもたせる。
	課人に親切する時に大切 	Jなことは何たろう。	
	3 教材の登場人物や条		
	2.14		
	件・情況について知る。 		
展	登場人物 友子	子 きくさん	
	条件・情況		
	・おばあさんに親切にしたら、断られてしまった。		
開	・お年寄りの気持ちがよくわからなくなった。		
	福祉センタ	ーのボランティアに参加し	た。

- 4 読み聞かせを聞き、友子 の気持ちを中心に話し合 う。
 - ないきくさんを見て、友 子はどんな気持ちだっ ・嫌われているのかな。 たか。
 - し口を探しているきく さんを見て、自分なら どうするか。

- \mathcal{O}_{0}
- 何を考えているかわか らない。
- せっかく話をしたいと 思って来ているのに。
- しれないから手伝う。 きくさんが困ってい るから。
- う。そうすればきくさ んも助かると思うか b.
- ・手伝う。自分がきくさ んだったら、優しくし てもらいたいから。
- 見守る。きくさんは自 分でやりたいかもし れないから。
- ・見守る。見守ることも 大切だと思うから。
- ・声をかけ てから見守 る。いつでも手伝うの で言ってくださいと伝 えて見守るほうが親切 だと思うから。
- ・みんな、きくさんのこ いる。
- きくさんも喜んでくれ ると思う。

- ・友子の気持ちになって話を聞く ように声をかける。
- (1)話しかけても何も言わ ・ なんで答えてくれない ・ クラス全体で話し合うことで、 高齢者との関わり方への不安 や理解がなかなかできない時 に感じる戸惑いに共感させ る。
- (2)一生懸命ストローのさ ↓・うまくできないのかも ┃◎ 高齢者の置かれている状況に ついて考えさせるために、児 童が友子役、教師がきくさん役 で役割演技をする。(技能)
 - ・大変そうだから手伝・役割演技で行った行為の理由を 聞いたり、周りで見ている児童 に気付いたことを聞いたりする ことで、同じ行為でも相手の立 場に立っているかそうでないか に気付かせる。
 - ◎高齢者の気持ちや考えはそれ ぞれ違うことに気付かせるた めに、補助発問をする。

(価値・態度)

- ・役割演技での補助発問例 「どうしてそういう行為をしたの。」 「友子みたいに断られるかも しれないよ。」
- 「自分がきくさんだったら、ど うしてほしいですか。」 「きくさんはどう感じているかな。」
- とを考えた行動をして ・行為の理由の共通点が全て「き くさんの立場」になっている ことに気付かせる。
 - ☆きくさんにどのように接する か、その理由を交流しながら、 親切について多様に考えてい る。(観察・発言・表情)

展

開

	(3)きくさんに「ありがと	・自分の気持ちがきくさ	・きくさんの涙を見て胸がい
	う」と言われ、きくさ	んに通じて嬉しい。	っぱいになり、心の奥に温
	んの涙を見た友子はど	きくさんのことを考え	かいものがこみ上げてきた
	んな気持ちだったか。	て行動したことがよ	友子の様子を押さえる。
		かった。	・きくさんのことを思い考えて
		・きくさんの気持ちがわ	行動した友子の気持ちがきく
		かってきた。	さんに伝わったことに気付か
		・また手伝いたい。	せる。
展	(4)課題について考えをも		・親切にする時に大切なことに
/12	7°	えることが大切だ。	ついて、ペアで考えを共有し
		・相手を尊重して自分の	
		気持ちを表すことが	
		大切だ。	5.
	5 これまでの自分を振り	・誰に対しても思いやり	・相手のことを考えて親切にし
	返り、自分の考えを書く。	の心をもって行動し	たこれまでの経験を思い出さ
	・相手のことを考えて、行動	たい。	せる。
開	したり見守ったりしたこ	・高学年なので、低学年	・互いの良さを認め合うことで、
	とはありますか。自分の考	が困っていたら、優し	自分を肯定的に感じることが
	えを書きましょう。	く声をかけたい。	できるようにする。
		最初に断ったおばあさ	☆相手の立場に立って親切にす
		んの理由について考	ることが、これまでできてい
		えることも大切だと	たかを振り返りながら、その
		思った。	大切さについて考えている。
			(振り返りカード・発言)
	6 「行為の意味」を読む。		・詩「行為の意味」から相手のこ
終	*ゲストティーチャーに話		とを考えて行動したいという気
末	していただくのもよい。		持ちをもたせるようにする。
1	していたにくりひみり。		コックとひにとるみノにょる。

7 他の教育活動との関連

社会	・我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、関連する先人の業績等
江云	を理解する。
※へみと※図の中間	・福祉体験の一環として「高齢者疑似体験」を行い、高齢者の不自
総合的な学習の時間	由な状況を理解する。
	・地域のボランティア等でお世話になっている高齢者と給食を食べ
学校行事	る等の触れ合いを通して、高齢者の思いや願いについて理解し、
	楽しい思い出を作る。

8 本時の授業の評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

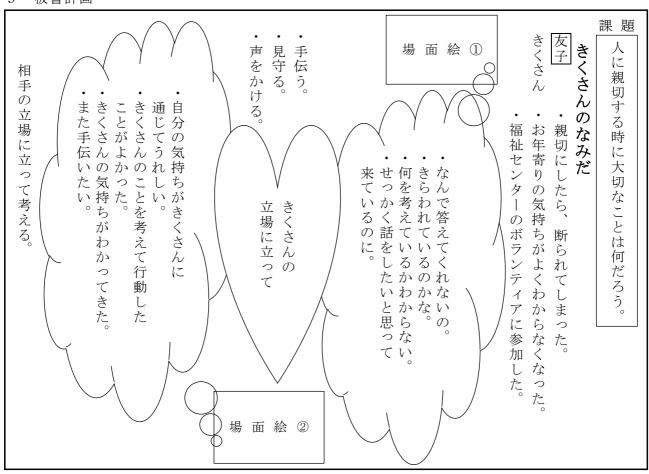
・友達の考えを聞き、親切にすることについて様々な立場から考えている。

(観察・発言・表情)

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

・親切や思いやりについて、自分との関わりで考えている。 (振り返りカード・発言)

9 板書計画



10 資料

(1)行為の意味 宮澤章二「『私たちの道徳』小学校5・6年」(文部科学省)62ページ

そけ確 れれか はどに けれど 自分にも他人にも〈こころ〉は見えない 2 やさしい思いが あたたかい心が それも人に対する積極的な行為なのだから 同じように胸の中の〈思い〉は見えない 〈心〉も〈思い〉も 初めて美しく生きる ひとに聞かれても答えようがない 行為の意味 それは 人が人として生きることだ あなたの〈こころ〉はどんな形ですか 〈思いやり〉はだれにでも見える 〈こころづかい〉は見えるのだ ほんとうに見えないのであろうか 〈こころ〉はだれにも見えない 人に対する積極的な行為だから あたたかい行為になり やさしい行為になるとき 宮澤章二

(2)場面絵





話すことにした。友達との会話や今夢中になっている遊び

のことなどを話した。

うに見えてきた。そして、そんなきくさんの顔を見て、友すると、だまって聞いているきくさんの 表 情 が楽しそ

子も少しずつ楽しくなってきた。

おやつの時間になり、友子はきくさんといっしょに食べ

た。牛乳を飲むとき、きくさんが牛乳パックの口になかな

目を細めて一生けん命ストローのさし口をさがしている。かストローをさせなでいることに気づいた。きくさんは、

友子は、しばらくその様子を見ていた。

すると、きくさんの手がすべって、あやうく牛乳パッ

クが落ちそうになった。

友子ははっとして、思わず手をさしのべた。そして、パ

ックの口にストローをさしてきくさんに手わたした。する

「ありがとうね。_

と、きくさんが小さな声を出した。

初めてきくさんの声を聞いて、友子はおどろいた。そし

て、その小さな声が心の中に大きくひびいた。

「今日は一日、どうもありがとうございました。」

最後に、友子がきくさんとあく手をすると、きくさんの手

さしい目のおくになみだがかがやいていた。友子も胸がいはとてもあたたかかった。きくさんの顔を見ると、そのや

っぱいになり、心のおくからあたたかいものがこみ上げて

きた。

帰り道、きくさんのなみだを思い出し、友子は心の中で

そっとつぶやいた。

(きくさん、ありがとう。)

(出典 「彩の国の道徳(小学校高学年) 夢にむかって」

埼玉県教育委員会)

きくさんのなみだ

「お年よりの気持ちって、よくわからない…。」

学校の帰り道、友子が歩道橋のところまで来ると、大き

登って行くのが見えた。友子は少し迷ったが、思い切って、 な買い物のふくろをさげたおばあさんが、階段をゆっくり

「荷物を持ちましょうか。」

と手をさし出した。しかし、おばあさんは、

「だいじょうぶ。」

と、一こと言ってそのまま歩いて行ってしまった。

「遠りょしたのかもしれないわね。」

とお母さんは言ったが、友子の心は何かすっきりしなかっ

は、思い切ってボランティアに参加することにした。 ふれあうもよおしが、福祉センターで開かれるのだ。友子 い広場ボランティア募集』のポスターを見つけた。老人ホ ムのお年よりとゲームをしたり、おやつを食べたりして それからしばらくたったある日、友子は学校で、『ふれあ

いよいよ、ふれあい広場の当日となった。

(お年よりとうまく話ができるのだろうか。)

友子は朝から不安でいっぱいだった。

会場に行くと、小学生の子どもたちの中に、 車いすの人

やつえをついたお年よりの人がいた。

友子は、八十二歳の吉田きくさんというおばあさんと組

むことになった。

「きくさん、こんにちは。」

と話しかけてみた。でも、おばあさんは何も言わない。 少

し大きな声で話してみたが、やはり反応がなかった。 (やっぱり、お年よりの気持ちを理解することはできない

のかな…。)

友子にとって、ボランティアは初めての経験で、おろお

ろするばかりであった。

すると、老人ホームの職員の人が、

「きくさんは、あまり話さないけれど、ちゃんと聞こえて

いるから、だいじょうぶよ。」

よいかわからなかったので、とりあえず、学校での様子を と、言ってくれた。友子は少しほっとした。何を話したら